

年 組 名前：

問1

早川町は、ダムに堆積した土砂で、農地を造る計画を策定しています。土砂は、町内のどこへ搬入する計画ですか。

.....

問2

土砂で造成した農地で、なにを栽培する計画ですか。

.....

問3

土砂を搬入予定の場所は、何の群生地で、早川町の何として、天然記念物に指定されていますか。

・何の群生地

.....

・何として指定

.....

問4

この計画について、あなたはどのように考えますか。あなたの意見を書いてください。

.....

.....

.....

# ダム堆積土砂で農地造成

## 早川町計画 住民ら植生へ影響懸念



農業用地の造成予定地周辺を視察する住民ら —早川町早川

早川町が、町内の雨畑ダムに堆積した土砂を使って町内に農業用地を造成する計画の策定を目指している。ダムを管理するアルミメーカーの日本軽金属(東京)と共同で実施する予定。ただ住民からは、造成予定地周辺の植生への影響や積み上げた土砂の安全性に対する懸念の声も漏れる。3日は予定地を視察し、専門家が慎重な対応の必要性を指摘した。

町などによると、計画は、砂の搬去を進めていることに同社が水害の危険性を指摘。関連して浮上した。大量の土砂がダム湖内に堆積した土砂がダム湖内に仮置きされ、

処分先が見つからないことから、町が同町早川の通称・シッコ山などを搬入先として提案。土砂を使いヤマブドウなどの農業用地を造成する計画を策定している。

このため周辺住民からは、造成に伴う環境変化やダンパーの往来が植生に与える影響を懸念する声が上がっている。大量の土砂を積み上げることを想定し、大雨時の崩落を心配する声もある。

会のメンバーは計画に慎重な姿勢を見せているが、辻一幸町長は「雨畑ダムの問題を解決し、急しゆんな地形の町で農業用地を確保する『二石一鳥』の事業。環境保全や防災面も考慮した計画を策定し、町民に丁寧に説明して理解を得たい」と話した。

(2023年11月4日付 山梨日日新聞18面)